

A portrait of Robin Lim, a woman with dark hair in a braid, wearing a colorful floral patterned shirt. She is looking off to the side with a thoughtful expression. A piece of driftwood is visible in the background.

IMPACT HERO 2016

Robin Lim

Final Report



STORY OF OUR HERO

一般社団法人 Earth Company 代表理事 濱川明日香

ロビンへの3年間の支援を終えた今、皆さ
まと一緒に実現できたことの大きさ、深
さを、改めて噛み締めています。その全
てを文字で表現することは不可能ですが
この冊子を眺めて、この3年を思い起こし
少しでも「支援してよかったなあ」と思
っていただけることを願い、今書いてい

ます。
ロビンは支援開始当時、他のIMPACT
HERO達と違って、すでに20年もの間、
団体を運営してきた実績があり、ブミセ
ハット国際助産院のお産メソッドの有効
性はすでに証明されていました。実際に
世界各国から、クリニック開設の依頼が

殺到していました。ロビンとブミセハッ
トの助産師たちには、被災地や難民キャン
プ、僻地などの設備が不足する環境で
も安全に赤ちゃんを取り上げられるノウ
ハウがあります。ブミセハットだから助
かる赤ちゃんがたくさんいました。その
ため、ロビンの支援はコンサルティング
や機会創出よりも、ブミセハットのサー
ビスをより多くの人々に届けるため活動
拡大のための資金調達にフォーカスする
ことを決めたのでした。



支援を始めた2015年、まるで掘っ建て小屋のようなバリ島旧クリニックでは、私の息子も含め、358人の赤ちゃんが生まれていました。そして今は、訪れる人たちが「どうやってこんなに素晴らしい施設を建てられたの？」と驚くほど、見事なクリニックが建ちました。皆さまとロビンとEarth Companyが一緒に建てたクリニックです。ロビンはその質問にいつも、「みんなの愛で建ったのよ」と答えます。そのクリニックが完成し、フル稼働となっ

た今、2018年には482人の赤ちゃんを無事にこの世に迎え、皆で支援した3災害では、5万人以上の被災者に支援を提供することができました。私たちの支援がなかったら、この人たちはどうなっていたんだろう、と思うことがよくあります。3年間で賜った3000万円以上の支援を届け、クリニックが3拠点から5拠点に増えただけでなく、その拡大した活動を支える継続寄付やブミセハット初めての収益事業を立案・導入することも実現できました。

ロビンは支援者たちに、「私たち助産師がブミセハットの手だとしたら、あなたたちはブミセハットの心です」と言います。本当にその通りだと思います。

私もロビンも皆さまを「同志」と思っています。そして共に実現できたこの支援を、心から誇りに思います。ブミセハット、Earth Companyを代表して心の底から、御礼を申し上げます。

IMPACT HERO 2016 - OUR 3 YEARS TOGETHER

2015.9

IMPACT HERO 2016に選出



ロビンが2人目のIMPACT HEROに。
バリ島の新クリニック建設費用のため
ファンドレイジング開始。

2016.7

ファンドレイジング終了



87 名、7法人から1061万円が集まり
ファンドレイジング目標達成。

2016.10.

バリ島新クリニックオープン



日本始め、世界中からの寄付で
新クリニックが完成。多くの赤ちゃん
とお母さんを救えるように。



旧クリニック



旧クリニックの施術室



建設中の新クリニック



新クリニックの診察室



多くの助産師も学べるように

ロビンと歩んだ3年間

2017.12

バリ島アグン山噴火緊急支援



10万人が避難する緊急事態に
ブミセハット国際助産院も避難民
130名を緊急受け入れ。
目標を遥かに超える支援によりバ
リ島クリニックに避難施設も建設
できることに。

2018.1

パプアクリニック完成



インドネシア・パプア州に現地
待望の新クリニックを開設。

2018.9

ロンボク島地震支援
フィリピン台風災害支援

ロビン・リム、初来日！

2018.11

日本からの研修事業立案
避難施設の建設着工
パラワン島クリニック着工

2018.12



日本の支援者、そしてロビンと志
を同じくする助産関係者、社会起
業家と熱い交流を実現。

WHAT WE'VE ACCOMPLISHED TOGETHER



ファンドレイジング

新クリニック建設
2015.9～2016.10

支援額 **1,061**万円

増え続けるニーズに応えられるよう建設されるバリ島新クリニックのため、ファンドレイジングキャンペーンを実施。87名からの個人寄付、7社からの法人寄付を賜り合計1,061万円を支援。他国の支援団体の協力もあってクリニックは無事に完成し、一般病棟と薬局、プレイグラウンドが日本からの支援で建設されました。



ファンドレイジング

パプア州&パラワン島 新クリニック設立
2017.5～

支援額 **1,056**万円

インドネシアで最も貧しいエリアの一つ、パプア州。出産時の母子死亡率が非常に高いこの地に「パプアにも、愛ある安全なお産を！」と願うパプア人お母さんの思いをきっかけに、パプアクリニックが完成。また2019年は、現地からの強い要望に応えフィリピン・パラワン島にも新クリニックが建設されます。



ファンドレイジング

緊急災害支援
2017.12～2018.9

支援額 **826**万円

災害時にも救える命を救うために、災害支援も積極的に行っているブミセハット国際助産院。以下における被災地支援活動費の他、バリ島クリニック内に避難所の建設を支援しました。

- ・2017年11月のバリ島アゲン山噴火
- ・2018年7月のロンボク島地震
- ・2018年9月のフィリピンの大型台風被害

～皆さまと共に、3年間の支援総額3,153万円で提供できた支援



メディア掲載

2016.1～2018.12

総掲載数

13件

支援拡大や新たな機会創出につなげるためWEBメディアから学術雑誌まで各種メディアに掲載されるようPR活動を実施し、日本国内でのブミセハット国際助産院の認知度アップに貢献。3年間で13本のメディアで関連記事が掲載されました。



来日ツアー開催

2018.9

動員数

705名

3年間で多くの支援を賜った日本の支援者のみなさまにロビンの感謝と愛を伝えるため、日本の助産師のみなさまにエールを送るため、そしてブミセハット国際助産院の運営を安定的に支えるマンスリーサポーターを募るため、ロビン・リムを招聘し、初来日ツアーを開催。126名がマンスリーサポーターとなり、年間307万円の寄付基盤を形成しました。



日本の助産関係者への研修事業立案

2018.10～2018.12

事業開始

2019年4月

ブミセハット国際助産院の安定した運営のため、持続的な収益事業として日本の助産関係者を対象とした研修受け入れ事業を立案。第1回の研修プログラムが、2019年4月に開催されます。支援終了後も、マンスリーサポーターとの繋がりを大事にし、研修事業を継続できるよう、ジャパンボランティアチームを結成しました。

IMPACT MADE BY YOU!

皆さまのおかげで叶えられたこと



写真は文章中の赤ちゃんではありません。

死の危機から「愛の奇跡」で救われた赤ちゃん

それは、5人の赤ちゃんが生まれた、ブミセハット国際助産院のとても忙しい日でした。

数年前に1人目をブミセハットで自然分娩で出産したマデは、2人目の赤ちゃんの陣痛を感じ、助産院を訪れました。しかし、助産師がお腹の赤ちゃんの心拍数を測ると、40回近くまで下がっていました（通常は110～160回）。「このままでは、死んでしまう…」すぐに、産まないと危険な状態でした。心拍計から聞こえる心拍数がさらに下がるのを聴きながら、その場にいた全員表情が暗くなっていきました。みんなが希望を失いかけた時、1人の助産師が「I love you…」とマデを優しく抱きしめました。そして部屋にいた他のスタッフも、ロビンも、マデの夫も次々に「I love you」とマデを抱きしめたのです。

夫や助産師に抱きしめられ、みんなの愛に包まれたマデは、体の中で、何かが変わるのを感じました。同時に赤ちゃんの心拍数が上がり、陣痛が来て赤ちゃんが生まれたのです！オキシトシン（「幸せホルモン」とも言われ、スキンシップなどで分泌され、陣痛を促進する役割も果たす）が反応したのでしょうか。

マデは赤ちゃんを出産しましたが、栄養失調のためへその緒が短く、首に絡まり赤ちゃんは息をしていませんでした。ロビンが蘇生術を繰り返し、やっと息を吹き返した時には、愛の奇跡で救われた赤ちゃんの誕生に、誰もが涙を流して喜びました。赤ちゃんは口唇裂でしたが、マデも夫も、「生まれてきてくれてありがとう」と、ただただ命があることに心から感謝したのです。

口唇裂の赤ちゃんに、無償の手術を提供している財団とパートナーシップを組んでいるブミセハットは、マデをその財団に紹介。手術のためには、赤ちゃんの体重が5キロ以上になる必要があったため、ブミセハットはマデが赤ちゃんの体重を順調に増やせるようにあらゆるサポートをしました。

まず、貧しくて食費もままならないマデがきちんと食べて母乳を出せるように、食糧支援を提供。母乳マッサージを教え、おっぱいをうまく飲めない口唇裂の赤ちゃんが母乳を飲むために必要な器具も買い与えました。ブミセハットの献身的な支援もあり、2500gで生まれた小さな赤ちゃんは、3ヶ月で無事に5キロを超え、手術を受けられるようになったのです！手術の日も、ブミセハットはマデを迎えに行き病院まで送っていきました。

それからしばらくして、ロビンはマデの夫に偶然、市場で出会いました。「あの子はどうしている？」と聞くと、夫は笑顔で答えました。「愛に助けられた息子かい？おかげで、手術後も順調で、今は全く普通の子と変わらないよ！ありがとう、ロビン。本当にありがとう！！」

ネパール大震災の被災地から助産師の夢を叶えたサビタ

2015年のネパール大地震で、最も深刻な被害を受けた地域で被災したサビタ。夫の実家はつぶれ、祖父も命を落とし、父は脊髄損傷で一生動けない体に。妊娠中のサビタも、被災後の食糧不足で流産してしまいました。それでも救急医療の知識があったサビタは、懸命に苦しむ他の被災者のため被災地で活動をしていました。ネパールでの支援活動中にサビタを知ったロビンは、すぐに奨学金の提供を決断。サビタは助産師を目指して看護学校に通うことができ、2018年秋に無事に卒業。助産師になる夢をついに叶えました。

サビタは今、カトマンズで、お母さんと赤ちゃんに寄り添う助産師として誇りをもって働いています。

看護師として働くサビタ





my Dear Japan Family 31 January 2019
Your generous hearts have sustained the Bumi Sehat
Patients and scholars, for three beautiful years. Only
because of your devotion via Earth Company, the
clinic in Bali is open. Because of you, Angel Hivomi Birth
Center in Papua is soon to open. Because of your care
tens of thousands of homeless earthquake survivors and
Volcano eruption refugees have had essential care.
Words cannot fully express my gratitude. Please
accept my offering of LOVE... it is all I have to give.
Peace on Earth & Love, Robin

親愛なる日本のファミリーへ

この3年間、皆さんの寛大な心が、ブミセハットの運営と助産師育成を支えてくれました。Earth Companyを通じたみなさんの愛があったからこそ、バリ島やパプアに新クリニックを開設でき、火山の噴火で行き場を失った数万人の人々を救い、必要なケアを提供することができました。

どんなに言葉を尽くしても、私の感謝の思いはとても伝えきれませんが、どうか心からの愛を受け取ってください。私にはそれしかありませんから。

世界が愛と平和で満たされますように
ロビン・リム





IMPACT HERO 2016 Robin Lim Final Report

2018年2月発行

一般社団法人Earth Company
東京都港区南青山2-15-5 FARO 1F
03-6753-1558